

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

全国会議ニュース



2023年8月1日発行 (No.27) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

<https://www.f-zenkoku.net/>

「骨太方針 2023」緊急情勢学習会報告(7/7開催)

7月7日(金)オンライン開催にて、骨太方針の全体像を山崎光弘さん、少子化対策について杉山隆一さんにお話しいただき、65名の参加者と共に学びました。

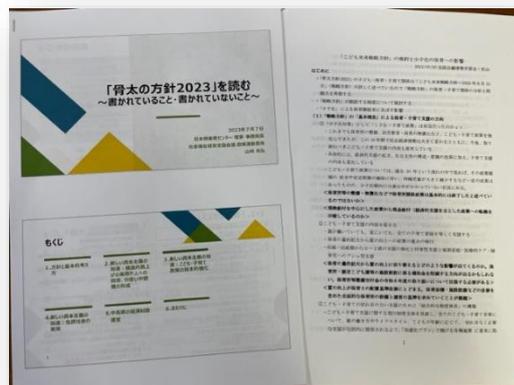
～その背後に潜む「書かれていない」国の狙いを解説～

国会解散が取り沙汰される中で作られた本方針の内容は、表面的に読むと「良いこと」が盛沢山に映りますが、その背後に潜む「書かれていない」国の狙いを解説いただきました。国内外で直面している課題は、ウクライナ侵略、気候変動や災害、デフレ経済、少子化など多岐にわたり、我々は非常に不安定で「不安」な情勢の中にいることを認識しました。しかし本方針がこれらを打開する道筋になるのではなく、多くのまやかしに満ちた内容であることが読み解かれました。課題解決しながらの経済成長を目的とした「新しい資本主義」は、賃上げや国内投資を軸に好循環を生むと語られていますが、中小企業の淘汰や自己責任の強化などを助長するリスクが高く、残念ながらこの枠の中に再分配である社会保障という観点はありません。福祉職の賃上げに注視していくと、「職務給の導入」「労働移動の円滑化」といった多様な働き方を推進するキーワードが現れ、我々にとって望ましいことなのか疑問です。福祉現場でも議論しなくてはいけない中身となるでしょう。

～「こども誰でも通園制度」も聞こえ良いネーミングですが～

経済成長、所得向上で財政基盤を確固たるものにし、歳出改革等による公費の節減により新たな税負担を考えずに「こども・子育て政策の抜本的強化」が行われようとしています。これは、社会保険方式の強化(支援金の上乗せ等)と社会保障費の出抑制(全世代型)の徹底を意味し、「財源」は既存の社会保障の切り捨てのうえにたったものと言えます。社会的に弱い立場に置かれている人のしわ寄せとなる仕組みには、高齢分野も障害分野も黙ってられません。こども・子育て政策は、児童手当の第3子のからくりや手当収入で所得税等が上がる課題など、結果として増税施策につながるだけとの指摘もありました。「こども誰でも通園制度」も聞こえ良いネーミングですが、公的保育の仕組みが崩され利用者と事業者の契約のうねり立つ出来高制への移行が危惧されることを学びました。

今回の学習を通して、今後の運動に活かしていきたいと思えます。(政策運動委員会・藤田隼平)



リバイバル・2023.7/7「2023 骨太方針」緊急情勢学習会・申込フォーム
<https://forms.gle/bZadxSNVCUHuSksX6>

学習方法: YouTube

限定公開の視聴

限定公開期間

: 8月10日まで



「骨太の方針 2023」を読む①
～書かれていること・書かれていないこと～



「骨太の方針 2023」を読む②
～書かれていること・書かれていないこと～

社福経営 info no.70では「骨太の方針 2023」の「マクロ経済運営の基本的考え方」・「三位一体の地方自治体改革による構造的賃上げの実現と「人への投資」の強化、公的・民間の両面」に係るポイントと課題をお伝えしました。
社福経営 info no.71では、引き続き新しい資本主義を推進するための「こども・子育て政策の抜本的強化」・「中長期的経済財政運営」のポイントと課題についてお伝えします。

社福経営 INFO No.70, No.71 で骨太方針 2023 の詳細を解説しています。

